

令和3年度  
(2021年度)

九州大学大学院医学系学府  
医科学専攻修士課程

学 生 募 集 要 項

九州大学大学院医学系学府  
<http://www.grad.med.kyushu-u.ac.jp/>

# 目 次

## 募 集 要 項

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 入学願書受付期間及び提出先	3
4. 出願書類	3
5. 入学者選抜方法	4
6. 出願資格審査	5
7. 合格発表	5
8. 入学手続	5
9. 障害のある入学志願者について	6
10. その他	6

## 九州大学大学院医学系学府医科学専攻（修士課程）について

概 要	7
授業科目及び修得する単位数	8

入学願書・受入内諾書・志願理由書・出願資格審査申請書・写真票(受験票)・入学検定料原符・  
振込依頼書等・宛名票



# 令和3年度九州大学大学院医学系学府 医科学専攻修士課程学生募集要項

## 1. 専攻及び募集人員

医科学専攻20名（外国人特別選抜若干名）

## 2. 出願資格

### 〔A〕一般選抜試験

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は令和3年3月までに卒業見込の者
- (2) 学校教育法第104条の第4項の規定により学士の学位を授与された者又は令和3年3月までに授与される見込の者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は令和3年3月までに修了見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和3年3月までに修了見込の者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者又は令和3年3月修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和3年3月修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣が指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院の学府において本大学院の学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 令和3年3月31日までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育法における15年の課程を修了し、本学府において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (11) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに22歳に達する者
- (12) その他本学府において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

上記資格 (9) ～ (12) 号により出願する者は、本学府において事前に個別の資格審査を行う。

認定審査は、書類審査により実施する。

認定審査に合格した者が、入学試験に出願することができる。

## 〔B〕社会人特別選抜試験

下記各号のいずれかに該当し、かつ、大学等卒業後2年以上経過している者で、企業、教育研究機関等に勤務している者又は勤務した者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条の第4項の規定より学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院の学府において本大学院の学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) その他本学府において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

上記資格 (9), (10) 号により出願する者は、本学府において事前に個別の資格審査を行う。

認定審査は、書類審査により実施する。

認定審査に合格した者が、入学試験に出願することができる。

## 〔C〕外国人留学生特別選抜試験

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和3年3月までに修了見込みの者

- (2) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育を受けた者で、当該学府において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

上記資格（3）号により出願する者は、本学府において事前に個別の資格審査を行う。  
認定審査は、書類審査により実施する。  
認定審査に合格した者が、入学試験に出願することができる。

### 3. 入学願書受付期間及び提出先

- (1) 期 間 令和2年7月3日（金）～令和2年7月20日（月）午後5時まで。  
郵送による場合も同上同時刻までに必着とする（書留郵便）。
- (2) 提出先 〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号  
九州大学医系学部等学務課大学院係 TEL 092-642-6025

### 4. 出願書類

下記書類を取りそろえ医系学部等学務課大学院係へ提出すること。

- (1) 入学願書（本学府所定の用紙）
- (2) 受入内諾書（本学府所定の用紙）
- (3) 志願理由書（本学府所定の用紙1,000字程度）
- (4) 受験票・写真票（本学府所定の用紙）写真は出願前3ヶ月以内に撮影したもの。
- (5) 最終出身校の卒業（修了）（見込）証明書
- (6) 最終出身校の成績証明書
- (7) 宛名票（本学府所定の用紙）
- (8) 検定料 30,000円

次のいずれかの方法により、令和2年6月26日（金）以降に検定料を納付すること。

#### (A) 銀行振込み

所定の振込依頼書を使用し、銀行で「電信扱」として振込むこと。振込後、C票を本要項に綴り込みの「入学検定料原符」裏面に貼付すること。

○振込依頼書の記載にあたっては、綴り込みの記載例を参照のこと。

○ゆうちょ銀行・ATM・インターネットでの振込みはできない。

○三井住友銀行本店・支店で振込む場合は、手数料は無料。他行からの振込みによる振込手数料は、志願者が負担することとなる。

(B) コンビニエンスストアまたはクレジットカード

e-支払いサイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込の上、①コンビニエンスストア、または②クレジットカードにより納付すること。(海外からの支払いの場合は②のみ。)

納付方法の詳細は、本要項に綴込みの「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。

【①コンビニエンスストアで決裁した場合】

「入学検定料・選考料・収納証明書」を入学願書右下の「『入学検定料・選考料・収納証明書』貼付欄」に貼付し、出願書類と共に提出すること。

【②クレジットカード決済した場合】

『受付完了画面』をプリントアウトした用紙』を出願書類と共に提出すること。

納付可能期間 令和2年6月26日(金)～令和2年7月20日(月)

なお、振込手数料は、志願者が負担することとなる。

※e-支払いサイトにおける手順等に関する質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくある質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>)を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

出願書類受理後の書類の変更、検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後に出願しなかった者及び受理できなかった者については検定料を返還する。

(9) 受験票送付封筒 定型長3封筒(12cm×23.5cm)に郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手374円を貼付したもの 1枚。

(10) 在留カード(写)または住民票 外国人で日本に在留している者

## 5. 入学者選抜方法

学力検査、提出書類等により総合的に審査する。

○ 学力検査(一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜試験)

検査日: 令和2年8月7日(金)

試験科目: 英語, 生物学全般, 面接

※試験は、受け入れ希望分野にて実施する。

詳細は、令和2年7月1日以降に、受け入れ分野の責任者に問い合わせること。

ただし、新型コロナウイルス感染症の収束具合によっては、九州大学医学部において試験を行う可能性がある。九州大学医学部において試験を行う場合は、令和2年6月30日までに決定し、ホームページ(<http://www.grad.med.kyushu-u.ac.jp/>)等で通知するので注意すること。

(注意事項)

(1) 事前に受け入れ分野(研究室)の責任者の内諾が必要です。

(2) 英語試験は、辞書の持ち込み可です(電子辞書は不可)。

(3) 生物学全般については4問中3問(配点150点)を基礎生物学から出題し、残り1問(配点50点)については基礎生物学または生物学統計学のどちらかの選択となります。生物学全般において、生物統計学の問題を選択する予定の受験者は電卓(四則演算、対数・指数・平方根計算機能があるもの)を持参すること。

(4) 配点は以下の通りです。

- ・ 外国語（英語）100点
- ・ \*生物学全般200点（必須問題150点、選択問題50点）
- ・ 面接100点

\*生物学は以下の分野を含みます

① 基礎生物学分野：広く基礎的で基本的な医学生物学的知識を問います。

参考図書：「Essential細胞生物学（原書第4版）」（南江堂）

中村桂子、松原謙一 監訳 ISBN 978-4-524-26199-4

② 生物学統計分野：以下の2項目に関して、基礎的基本的知識を問います。

- ・ 記述統計（代表値と散布度、データ図示）
- ・ 確率と確率分布（正規分布、二項分布、ポアソン分布）

参考図書：「医療統計学の基礎」（1章から3章）（医学出版）2004年

井上克己、岡本博之、城戸照彦 著 ISBN 4-7578-0021-5

## 6. 出願資格審査

(1) 申請書類受理期間

出願資格の〔A〕一般選抜（9）～（12）、〔B〕社会人特別選抜（9）、（10）及び〔C〕外国人留学生特別選抜（3）の何れかに該当する者は、願書出願に先立ち出願資格審査を実施するので、次の申請書類を**令和2年6月17日（水）**までに医系学部等学務課大学院係宛提出すること。

封筒の表に「出願資格申請」と朱書し必ず書留速達郵便とすること。

- ① 出願資格審査申請書（本学府所定の用紙）  
学歴は、高等学校卒業から記入すること。
- ② 最終学歴に関する証明書 卒業（修了）証明書、成績証明書  
審査の結果は令和2年7月2日（木）頃申請者本人に通知する。

申請書提出先

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号 九州大学医系学部等学務課大学院係

## 7. 合格発表

令和2年9月23日（水）10：00 学内の学生掲示板に掲示するとともに本人に可否を通知する。

## 8. 入学手続等

手続き期日等の詳細は、合格者に対し合格通知と併せて通知する。

- ① 入学料 282,000円（予定）
- ② 授業料 267,900円 [年額535,800円]（予定）

なお、授業料については、入学後に徴収する。

(注) 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。



## 9. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を受け付けている。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあるので、出願前できるだけ早い時期に医系学部等学務課大学院係まで相談すること。

## 10. その他

- 受験票は、令和2年7月22日（水）に発送する。

- 照会及び願書の提出先

〒812-8582

福岡市東区馬出3丁目1番1号

九州大学医系学部等学務課大学院係

TEL 092-642-6025

- ホームページ <http://www.grad.med.kyushu-u.ac.jp/>

- 本学医学系学府医科学専攻修士課程に入学後、その課程を修了し引き続き博士課程に進学を希望する者は、博士課程の入学試験を受験しこれに合格しなければならないが、検定料及び入学金は不要である。

## 大学院医学系学府医科学専攻の概要

### 専攻の目的

医学と他の関連分野の知識を統合することにより、「人の健康と福祉の増進」という医学の使命をさらに高いレベルで達成することができる多様な人材を育成することが本専攻の目的です。

### 専攻の目標

現代医学は、生命科学という共通基盤の上に、医学と薬学、理学、工学、農学、保健学等の広範な他分野の知識が融合しつつ学際的分野として成長しています。特に、基礎医学の分野においては、他分野との研究対象・研究手法の共通性が拡大・深化しつつあります。医療の現場においても、人工臓器、遺伝子治療、コンピューター画像解析など様々な分野の専門知識・技術の融合を必要とする医療が展開しつつあります。さらに、医学は、臓器移植、遺伝子解析、クローン動物など、これまで以上に深く生命倫理に関わる内容を含む時代に入ってきました。「人の健康と福祉の増進」という医学の使命を果たすためには、様々な分野の知識と人が一丸となって医学・医療を発展させる時代が始まったのです。

本専攻においては、医学研究に深い関心を持つ広範な分野の人材を対象に、医学に関する教育を体系的、効率的、集中的に行い、世界水準の医学研究の機会を提供することで、異なる専門領域の背景のもとで新たな視点に立った医学研究者及び高度専門職業人を育成することを目標にしています。

具体的には、本専攻は、次のような人材の育成を目標にしています。

- (1) 出身学部で取得した知識と医学が融合した独創的で先端的生命科学研究を推進することができる研究者・教育者を育成する。
- (2) 出身学部で取得した分野の知識に、専門的医学知識が加わった高度専門職業人として活躍する人材を育成する。

### 教育・研究指導体制

学生は原則として博士課程に進学するものとし、修士課程2年・博士課程4年の一貫教育を行う。指導に当たって、学生は、早期に研究室に配属され、広く医学の基本を修得しつつ、医科学ゼミナールの履修、研究指導を通じ修士論文を作成する。

## 授業科目及び修得に関する単位数

九州大学大学院医学系学府医科学専攻（修士課程）

### 必修科目

授 業 科 目 名	配当 年次	単位数	担当教員（世話人）	1年次		2年次	
				前期	後期	前期	後期
修士論文作成演習	2	4	指導教員より4単位認定				4

※必修科目4単位修得すること。

### 選択必修科目

授 業 科 目 名	配当 年次	単位数	担当教員（世話人）	1年次		2年次	
				前期	後期	前期	後期
医学概論	1	1	鴨 打 正 浩 教 授	1			
生命倫理学	1	1	丸 山 マサ美 講 師	1			
人体構造と機能Ⅰ	1	1	目 野 主 税 教 授	1			
人体構造と機能Ⅱ	1	1	今 井 猛 教 授	1			
人体構造と機能Ⅲ	1	1	住 本 英 樹 教 授	1			
人体構造と機能Ⅳ	1	1		1			
微生物・薬物と生体反応Ⅰ	1	1		1			
微生物・薬物と生体反応Ⅱ	1	1	林 哲 也 教 授	1			
微生物・薬物と生体反応Ⅲ	1	1		1			
微生物・薬物と生体反応Ⅳ	1	1	笹 栗 俊 之 教 授	1			
病因と病態Ⅰ	1	1	中 川 和 憲 講 師	1			
病因と病態Ⅱ	1	1	小 田 義 直 教 授	1			
病因と病態Ⅲ	1	1	池 田 典 昭 教 授	1			
病因と病態Ⅳ	1	1	池 田 典 昭 教 授	1			
疫学・医学統計学Ⅰ	1	1	清 原 千 香 子 講 師	1			
疫学・医学統計学Ⅱ	1	1	清 原 千 香 子 講 師	1			
疫学・医学統計学Ⅲ	1	1	清 原 千 香 子 講 師	1			
疫学・医学統計学Ⅳ	1	1	清 原 千 香 子 講 師	1			
医科学ゼミナール	1・2	8～16	指導教員より8単位以上 16単位以下認定	4	4	4	4

※選択必修科目より20単位以上を修得すること。

### 選択必修実習科目

授 業 科 目 名	配当 年次	単位数	担当教員（世話人）	1年次		2年次	
				前期	後期	前期	後期
医科学実習Ⅰ	1・2	6	指導教員より6単位認定		2	2	2
医科学実習Ⅱ	解剖学基礎実習	1	1	神野尚三教授		1	
	生理学基礎実習	1	1			1	
	分子生物学基礎実習	1	1	目野主税教授		1	
	病理学基礎実習	1	1	小田義直教授		1	
	微生物・免疫学基礎実習	1	1	林哲也教授		1	

※6単位以上修得すること。

※医科学実習Ⅱは2科目を限度とし、世話人が実習日を指定する科目以外は世話人と受講者間の話し合いで実施日を決定すること。

### 選択科目

授 業 科 目 名	配当 年次	単位数	担当教員（世話人）	1年次		2年次	
				前期	後期	前期	後期
臨床医学Ⅰ	2	2	中島康晴教授 園田康平教授			1 1	
臨床医学Ⅱ	2	2	中村雅史教授 小川佳宏教授			1 1	
臨床医学Ⅲ	2	2	筒井裕之教授 松元幸一郎准教授			1 1	
臨床医学Ⅳ	2	2	加藤聖子教授			1 1	

※この科目については単位認定を行うが、修了要件には含まない。

### 自由科目

授 業 科 目 名	配当年次	単位数	担当教員（世話人）
医学研究特論Ⅰ	1・2	1	大学院委員会委員長
医学研究特論Ⅱ	1・2	1	〃

※自由科目は本学大学院医学系学府博士課程進学予定者の博士課程講義の早期履修であり、修士課程の単位としては認定しない。

従って、他の博士課程に進学した場合はそこで単位として認められない可能性があるので注意すること。

